

内閣総理大臣 岸田文雄殿
外務大臣 林 芳正殿

G7広島サミット開催にあたっての日本政府への申し入れ

2023年5月10日 原水爆禁止日本協議会

G7広島サミットが、日本を議長に間もなく開催されようとしています。

被爆78年の今年、世界になお1万2千余の核兵器が存在し、核大国を巻き込んだ戦争や核の威嚇、「近代化」や「抑止力」の名で、核の増強がおこなわれているいま、被爆地広島でサミットを開催することには大変大きな意義があります。

この会議が、日本国民が望む核兵器のない世界の実現に有意義なものとなるよう、議長を務める岸田首相と日本政府に対し、以下の諸点を実現されるよう申し入れるものです。

1) 核兵器の非人道的影響を伝え、廃絶を促すことは政府と市民社会との違いを超えて、唯一の戦争被爆国日本が世界に果たすべき重要な責任です。サミットに出席する各国首脳、関係者に対し、被爆者の体験と核兵器廃絶の思いを伝えられるよう、被爆者を招く、原爆資料館に案内するなど、そのための措置を取られること。

2) 今年7月 - 8月には、オーストリアの首都ウィーンで次回NPT再検討会議の準備プロセスが開始されます。このプロセスが、これまでNPT再検討会議が合意した核兵器国による「自国の核軍備の完全廃絶」、「核兵器のない世界の平和と安全」の達成、そのための「枠組」の確立の努力など、核兵器廃絶につながるすべての合意の履行につながるものとなるよう、努力を促すこと。

3) 核兵器の全面禁止は岸田首相も「出口」と言明されたように、核兵器廃絶のために欠かすことのできない措置です。そのためにも日本政府が核兵器禁止条約への支持と参加の意思を率先して表明し、G7各国にもその検討を促すこと。

以上